

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第2区分  
 【発行日】令和7年1月10日(2025.1.10)

【公開番号】特開2023-166878(P2023-166878A)  
 【公開日】令和5年11月22日(2023.11.22)  
 【年通号数】公開公報(特許)2023-220  
 【出願番号】特願2022-77712(P2022-77712)  
 【国際特許分類】

G 0 2 B 5/30(2006.01)

10

H 1 0 K 59/10(2023.01)

H 0 5 B 33/02(2006.01)

H 1 0 K 50/10(2023.01)

H 0 5 B 33/14(2006.01)

G 0 2 F 1/1335(2006.01)

【F I】

G 0 2 B 5/30

H 0 1 L 27/32

H 0 5 B 33/02

H 0 5 B 33/14 A

20

H 0 5 B 33/14 Z

G 0 2 F 1/1335 5 1 0

【手続補正書】

【提出日】令和6年12月26日(2024.12.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

30

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ヨウ素を含み、水分率が15重量%以下の樹脂膜を第一液に接触させること、を含み、前記第一液は、ホウ酸およびヨウ化物の水溶液であり、前記第一液の温度は60以上である、  
偏光膜の製造方法。

【請求項2】

前記第一液に接触させる前記樹脂膜の単体透過率は44%以上である、請求項1に記載の製造方法。

【請求項3】

40

前記第一液のホウ酸濃度は4重量%以上である、請求項1に記載の製造方法。

【請求項4】

前記第一液のヨウ化物濃度は2重量%~10重量%である、請求項1に記載の製造方法。

【請求項5】

前記第一液に接触させた前記樹脂膜を第二液に接触させることを含む、請求項1に記載の製造方法。

【請求項6】

前記第二液は水を含む、請求項5に記載の製造方法。

【請求項7】

50

厚みが 8  $\mu$  m 以下の偏光膜を得る、請求項 1 に記載の製造方法。

10

20

30

40

50